



小樽商工会議所女性会 会員

- 新** 会長 ● 小笠原 眞結美 (㈱オー・プラン 代表取締役)
- 副会長 ● 石 橋 八千代 (gift of voice 代表)
- 新** 副会長 ● 武 田 亜 也 (小樽朝里クラッセホテル 支配人)
- 新** 副会長 ● 山 口 真三子 (東豊工業㈱ 代表取締役社長)
- 新** 相談役 ● 新 倉 敬 子 (㈲ダイヤワックス社 取締役社長)
- 理 事 ● 稲 葉 悦 子 (小樽洋菓子舗ルタオ チーフ)
- 理 事 ● 片 桐 富美子 (㈲片桐仏壇店 専務取締役)
- 理 事 ● 佐 野 佳 代 (㈲佐野帆布 相談役)
- 新** 理 事 ● 高 野 知恵子 (ベンジー高野商事㈱ 専務取締役)
- 新** 理 事 ● 堀 内 万記子 (ハ丸 堀内水産食品㈱ 代表取締役会長)
- 理 事 ● 間 野 美 香 (㈱エリアサポート・プロネット)
- 理 事 ● 横 山 文 代 (アトリエF・カンパニー 代表)
- 監 事 ● 越 中 瑞 江 (㈲アトリエ越中 代表取締役社長)
- 監 事 ● 近 藤 美恵子 (近藤工業㈱ 相談役)
- 会 員 ● 加 藤 晴 子 (社会保険労務士 オフィスKATO 代表)
- 会 員 ● 金 宗 有 美 (㈱小樽グリーンホテル 営業支配人)
- 会 員 ● 日下部 瞳 (美容室Akala 代表)
- 会 員 ● 中 村 幸 子 (ジブラルタ生命保険㈱ 札幌北支社小樽営業所 営業課長)

氏名五十音順
令和2年8月1日現在

令和元年度事業報告・収支決算報告、令和2年度事業計画案・収支予算案等を審議し、いずれも承認されました。役員改選では会長を9年

務めた新倉敬子さんが退任し、新たに小笠原眞結美さんが就任いたしました。令和2年度の役員及び会員は左記のとおりです。

令和2年度総会(書面総会)



ウエルカムフラワー事業

7月3日、会員4名が参加し、運河クルーズ発着場でプランターへの花植えを行いました。観光客や市民に花のある風景を楽しんでもらおうと平成26年より毎年実施しています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で観光客が減っている中、早くも元気を取り戻し、賑わいのある街になってほしいとの願いを込め、セラニウムとバコパを15個のプランターに植え、観光客の皆様をお迎えしています。運河から見る小樽の風景を楽しみながら、私たちの植えたお花にも目を向けていただければ嬉しいです。

今後の事業(予定)

第2回

「女性のための起業応援フォーラム」

3月に開催予定であった「女性のための起業応援フォーラム」は新型コロナウイルス感染症拡大防止により、中止いたしました。改めて開催時期を検討しています。詳細が決まりましたら小樽商工会議所女性会ホームページでお知らせいたします。

活動実績 【令和2年1月～7月】

- 1月 6日(月) 小樽市新年交礼会
- 8日(水) 北海道新聞社小樽支社新年交礼会
- 16日(木) 書面理事会
- 30日(木) 第2回定例会・令和2年新年会
- 5月 1日(金) 会計監査
- 21日(木) 令和2年度総会(書面)
- 7月 3日(金) ウエルカムフラワー事業



発行/令和2年9月1日
発行責任者/小笠原 眞結美
小樽商工会議所女性会

〒047-8520 小樽市稲穂2丁目22番1号
TEL 0134-22-1177 FAX 0134-29-0630

新会員募集

女性会では新会員募集中です。女性経営者、経営者をサポートしている女性、女性幹部など、日頃から会社経営について考えたり、悩んだりしていらっしゃる方、私たちと一緒に活動しませんか。女性の視点で社会を見つめ、自社の経営や自分自身の発展のために、女性経営者のネットワークを有意義に活かしましょう。

令和元年度 第2回定例会及び令和2年新年会

― 期日：令和2年1月30日（木） 場所：オーセントホテル小樽 ―

第2回定例会 「中小企業の役に立てる仕事がしたい」

講師 オフィスKATO 加藤 晴子^{せいこ}氏



また、社会全体のデジタル化が進むにつれ、労務管理のデジタル化に関する相談が増えており、日々情報収集しながら、取引先に正確な情報を伝えるよう努めているそうです。

昨年10月に社会保険労務士事務所を設立し、仕事と子育てを両立している加藤さんに話を伺いました。

〇社会保険労務士（社労士）を目指したきっかけ

加藤さんは大学卒業後、東京の出版社や青森県の出先機関に勤めましたが、多くの企業と関わる中で、中小企業の役に立てる仕事がしたいと考えており、当時の勤務先に社会保険労務士（社労士）が出入りしていたことや、友人から得た情報などから、社労士の仕事を知り、手に職をつけてキャリアを積みみたいと考えるようになり、社労士



の資格取得を目指しました。資格取得後は、東京の事務所に勤務していましたが、結婚を機に小樽に移住し、市内

〇仕事内容について

社労士には、経験を積み幅広く対応する方や、自身の専門知識を生かして活躍する方など様々です。加藤さんは年金制度のアドバイザーや、職場環境の適切化に向けた取り組み、給与計算の事務代行など幅広い業務を行っています。

〇女性が働きやすい環境にするために

働き方改革が施行されたことにより、女性や若者が働きやすい職場環境が整備されてきています。加藤さんは「これまでの経験を活かして女性が仕事と子育ての両立ができるよう支援をしたい」と思っています。出産や育児、介護による勤務時間の短縮や、育児休暇などの長期休暇により、復帰後の離職率が高まる傾向にあることから、女性が退職せずに仕事を続けられるよう提案しています。私自身も子育てと仕事を両立する立場から、女性が働きやすい環境づくりの

お手伝いをしたいと思っています」と話していました。

定例会終了後、迫市長、中野副会頭らを迎え、新年会を開催し、意見交換やゲームなどで懇談を深めました。



「よそにはない」

北海道新聞社 前小樽支社長

中川 充子

（現 経営管理局 局総務）



小樽に3年住んだ。部屋の窓から第三埠頭が見え、時おりクルーズ船が停泊した。海風が通り心地よい家だった。駅にも近く周り

にはいいお店が多かった。札幌でこんな環境はない。6月に転勤になることは分かっていたので、今年の春はまだ見ていない桜を見逃さないように歩いた。小樽の桜は太木で立派だ。風格がある。手宮公園では桜並木の下に海が見える。こんなところ他にはない。

連休に感心したことがあった。「コラボサンドイッチ」。小樽の料理人がフランスパンにそれぞれの持ち味を生かした具を

はさんで持ち帰り用に販売した。これが素晴らしく美味しく、しかもおしゃれ。好評で連休の後も続けたと聞いた。こんなことができる小樽の人は素敵だ。小樽には、よそにはないものがたくさんあることを知った3年間だった。

